

# シズオカ×カンヌウィークに関するアンケート調査結果

## 1 調査目的

静岡市では、フランス・カンヌ市との姉妹都市提携を背景に、映画に留まらず、食、音楽、アートなど幅広いジャンルの文化を発信するイベント「シズオカ×カンヌウィーク」を、市民の皆さんとの協働により毎年5月に開催しています。

この「シズオカ×カンヌウィーク」の市民認知度や、来場・参加割合を把握するとともに、今後のあり方についてのご意見を伺い、施策の参考にすることを目的として、アンケート調査を実施しました。

※昨年度（平成25年度）も同様の調査を実施しています。

## 2 調査対象

市政アンケートモニターとして委嘱した市内在住の男女100人

## 3 調査方法

インターネットによるアンケート調査

## 4 調査期間

平成26年8月5日（火）～8月19日（火）

## 5 回収件数

100件（回収率100%）

## 6 担当課

地域活性化事業推進本部

## 7 回答者の属性

### （1）年代・性別

年代	男性	女性
20代	1	9
30代	7	17
40代	9	19
50代	6	8
60代	6	9
70代以上	8	1
合計	37	63

### （2）居住地・性別

居住地	男性	女性
葵区	14	26
駿河区	14	21
清水区	9	16
合計	37	63

8 調査結果概要

■問1 「シズオカ×カンヌウィーク」を知っていますか。

○イベント認知度（全体）

「知っている」と回答した割合は、全体の73.0%となった。

※昨年の調査と比較し、21.0ポイント増加した。

○イベント認知度（男女別）

「知っている」と回答した割合は、男性が64.9%、女性が77.8%となった。

※昨年の調査と比較し、男性が25.4ポイント、女性が14.0ポイント増加した。

性別	知っている	知らない	合計
男性	24.0% (64.9%)	13.0% (35.1%)	37.0% (100.0%)
女性	49.0% (77.8%)	14.0% (22.2%)	63.0% (100.0%)
合計	73.0%	27.0%	100.0%

( )内の割合は各性別における割合

○イベント認知度（年代別）

「知っている」と回答した割合は、全ての年代で60%以上となった。

特に、20代(80.0%)、30代(75.0%)、50代(79.0%)が高い結果となった。

※昨年の調査と比較し、20代(昨年:90.0%)以外の全ての年代で認知度が向上し、特に30代は38.2ポイント、50代は34.6ポイント増加した。

性別	知っている	知らない	合計
20代	80.0%	20.0%	100.0%
30代	75.0%	25.0%	100.0%
40代	71.0%	29.0%	100.0%
50代	79.0%	21.0%	100.0%
60代	67.0%	33.0%	100.0%
70代以上	67.0%	33.0%	100.0%

## シズオカ×カンヌウィークに関するアンケート調査結果

### ■問2 何をご覧になって「シズオカ×カンヌウィーク」を知りましたか。 (選択はいくつでも)

○「シズオカ×カンヌウィーク」を知ったきっかけ

「広報しずおか」と回答した割合は44.9%と約半数を占めており、次いで「チラシ・ポスター」(20.5%)の順となっている。

※昨年の調査と比較し、チラシ・ポスターの割合が4.8ポイント増加した。

これは、昨年よりも早期にチラシ・ポスターを配布した効果によるものと考えられる。

回答割合の高い項目順は、昨年の調査とほぼ同様の傾向となった。

情報源	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	合計
広報しずおか	3.9%	11.8%	12.6%	6.3%	6.3%	3.9%	44.9%
チラシ・ポスター	1.6%	2.4%	7.1%	3.9%	2.4%	3.1%	20.5%
新聞・雑誌	0.0%	0.8%	3.1%	1.6%	3.1%	0.0%	8.7%
インターネット等	0.8%	1.6%	2.4%	0.0%	2.4%	0.8%	7.9%
紹介・口コミ	0.8%	2.4%	1.6%	0.8%	0.8%	0.0%	6.3%
開催中に通りかかった	0.8%	2.4%	1.6%	0.0%	0.0%	0.0%	4.7%
ガイドブック	0.0%	0.0%	1.6%	0.8%	0.8%	0.0%	3.1%
TV・ラジオ	0.0%	0.0%	1.6%	0.0%	0.0%	0.0%	1.6%
関連イベントへの参加	0.0%	0.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.8%
その他(フリーペーパー)	0.0%	0.0%	0.8%	0.0%	0.8%	0.0%	1.6%

■問3 静岡市とフランス・カンヌ市が姉妹都市であることを知っていますか。

○姉妹都市認知度（全体）

「知っている」と回答した割合は、全体の 59.0%となった。

※昨年の調査と比較し、15.1 ポイント増加した。

○姉妹都市認知度（男女別）

「知っている」と回答した割合は、男女ともに約 60%となった。

※昨年の調査では、「知っている」と回答した割合は、男性が 39.6%、女性が 48.0%であり、男女とも 10 ポイント以上増加した。

性別	知っている	知らない	合計
男性	22.0% (59.5%)	15.0% (40.5%)	37.0% (100%)
女性	37.0% (58.7%)	26.0% (41.3%)	63.0% (100%)
合計	59.0%	41.0%	100.0%

( ) 内の割合は各性別における割合

○姉妹都市認知度（年代別）

「知っている」と回答した割合は、全ての年代で 50%以上となった。

※昨年の調査と比較し、全ての年代で認知度が向上した。特に、30代(昨年:21.1%)は 28.9 ポイント、50代(昨年:44.4%)は 19.6 ポイント増加した。

年代	知っている	知らない	合計
20代	60.0%	40.0%	100.0%
30代	50.0%	50.0%	100.0%
40代	61.0%	39.0%	100.0%
50代	64.0%	36.0%	100.0%
60代	60.0%	40.0%	100.0%
70代以上	67.0%	33.0%	100.0%

## シズオカ×カンヌウィークに関するアンケート調査結果

### ■問4 静岡市がカンヌ市と姉妹都市であることを知ったきっかけは何ですか。

○姉妹都市を知ったきっかけ

「シズオカ×カンヌウィークと回答した割合が 79.7%となった。

※昨年の調査と比較し、「シズオカ×カンヌウィーク（昨年：65.1%）」と回答した割合が 14.6 ポイント増加し、「以前から知っていた（昨年：7.0%）」と回答した割合が 1.5 ポイント増加した。

きっかけ	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	合計
シズオカ×カンヌウィーク	6.8%	18.6%	22.0%	13.6%	8.5%	10.2%	79.7%
以前から知っていた	1.7%	1.7%	1.7%	1.7%	1.7%	0.0%	8.5%
広報しずおか等	0.0%	0.0%	1.7%	0.0%	3.4%	0.0%	5.1%
新聞	0.0%	0.0%	3.4%	0.0%	1.7%	0.0%	5.1%
学校の授業	1.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.7%

### ■問5 「シズオカ×カンヌウィーク」に来場、又はイベント等に参加したことはありますか。

○参加率（全体）

「ある」と回答した割合は 22.0%となった。男女による大きな差はなかった。

※昨年の調査と比較し、「ある（昨年：11.2%）」と回答した割合が 10.8 ポイント増加した。

性別	ある	ない	合計
男性	10.0% (27.0%)	27.0% (73.0%)	37.0% (100.0%)
女性	12.0% (19.0%)	51.0% (81.0%)	63.0% (100.0%)
合計	22.0%	78.0%	100.0%

( ) 内の割合は各性別における割合

## シズオカ×カンヌウィークに関するアンケート調査結果

### ○参加率（年代別）

20代から40代及び70代以上の参加率が比較的高いのに比べ、50代（7.0%）及び60代（13.0%）が低い結果となった。

※昨年の調査と比較し、20代（昨年：10.0%）は30.0ポイント、30代（昨年：5.3%）は19.7ポイント増加した。50代（昨年：11.1%）は4.1ポイント、60代（昨年：17.6%）は4.6ポイント減少した。

年代	ある	ない	合計
20代	40.0%	60.0%	100.0%
30代	25.0%	75.0%	100.0%
40代	21.0%	79.0%	100.0%
50代	7.0%	93.0%	100.0%
60代	13.0%	87.0%	100.0%
70代以上	33.0%	67.0%	100.0%

### ■問6 どちらの会場に行かれましたか。（選択はいくつでも）

#### ○参加会場（全体）

「静岡会場」への来場が59.3%、「清水会場」への来場が40.7%であった。

※昨年の調査とほぼ同様の傾向となった。

（昨年 「静岡会場」：61.5%、「清水会場」：38.5%）

#### ○参加会場（男女別）

男性の70.0%が静岡会場に来場しているのに対し、女性は会場別による大きな差は見られなかった。

※昨年の調査では、男女とも、約60%が静岡会場へ、約40%が清水会場へ来場と回答していた。

性別	静岡会場	清水会場	合計
男性	25.9% (70.0%)	11.1% (30.0%)	37% (100%)
女性	33.4% (52.9%)	29.6% (47.1%)	63% (100%)
合計	59.3%	40.7%	100.0%

（ ）内の割合は各性別における割合

## シズオカ×カンヌウィークに関するアンケート調査結果

### ■問7 「シズオカ×カンヌウィーク」のどのような催しが楽しかったですか (3つまで選択可)

#### ○楽しかった催し

「マルシェでの買い物・飲食」が 35.1%と最も多く、次いで「音楽・芸術関係イベント」(24.3%)、「映画関連イベント」(21.6%)の順となっている。

※昨年の調査と比較し、「音楽・芸術関係イベント」(昨年:16.0%)の回答割合が増加した。

その一方で、「マルシェでの買い物・飲食」(昨年:36.0%)、「映画関連イベント」(昨年:24.0%)、「大型店舗や商店街での関連セール」(昨年:12.0%)の回答割合が減少した。

また、昨年は「楽しい催しかなかった」との回答が 4.0%あったが、今回の調査では、このような回答はなかった。

楽しかった催し	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	合計
マルシェでの買い物・飲食	10.8%	10.8%	13.5%	0.0%	0.0%	0.0%	35.1%
音楽・芸術関係イベント	0.0%	8.1%	2.7%	2.7%	5.4%	5.4%	24.3%
映画関連イベント	2.7%	5.4%	5.4%	0.0%	2.7%	5.4%	21.6%
大型店舗や商店街での関連セール	5.4%	0.0%	2.7%	0.0%	0.0%	0.0%	8.1%
サプライズイベント	0.0%	2.7%	2.7%	0.0%	0.0%	0.0%	5.4%
ソーシャルメディアを使ったイベント	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.7%	2.7%
オープニングイベント	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
子ども向けイベント	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
楽しい催しかなかった	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.7%	2.7%
合計	18.9%	27.0%	27.0%	2.7%	8.1%	16.2%	100.0%

## シズオカ×カンヌウィークに関するアンケート調査結果

- 問8 「シズオカ×カンヌウィーク」において、どのような取り組みをすれば（または強化すれば）、もっと来場・参加したくなるイベントになると思いますか。  
（3つまで選択可）

◆今後の取り組み

「マルシェ等の店舗の充実」が27.5%と最も高く、次いで「映画関連イベントの充実」(24.2%)、「子ども向けイベントの充実」(14.0%)の順となっている。

※昨年の調査と比較し、「マルシェ等の店舗の充実」(昨年:23.0%)、「映画関連イベントの充実」(昨年:22.6%)、「音楽・芸術イベントの充実」(昨年:12.8%)、「ソーシャルメディアを使ったイベントの充実」(昨年5.8%)、の回答割合が増加した。

その一方で、「子ども向けイベントの充実」(昨年:16.3%)、「フランス・カンヌ関連イベントの充実」(昨年:14.8%)の回答割合が減少した。

取り組み	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	合計
マルシェ等の店舗の充実	3.0%	7.6%	6.8%	3.8%	4.2%	2.1%	27.5%
映画関連イベントの充実	2.1%	4.7%	7.6%	3.8%	4.2%	1.7%	24.2%
子ども向けイベントの充実	1.3%	7.6%	2.5%	0.4%	2.1%	0.0%	14.0%
音楽・芸術イベントの充実	1.7%	2.1%	2.1%	2.1%	2.5%	3.0%	13.6%
フランス・カンヌ関連イベントの充実	0.4%	2.1%	3.8%	1.7%	3.4%	0.8%	12.3%
ソーシャルメディアを使ったイベントの充実	0.4%	0.8%	2.5%	0.4%	1.3%	0.8%	6.4%
その他	0.0%	0.4%	1.3%	0.0%	0.0%	0.4%	2.1%
合計	8.9%	25.4%	26.7%	12.3%	17.8%	8.9%	100.0%

《その他》

◆告知・広報について

- ・CMを流してイベントを開催することをみんなの耳に入るようにする。  
(葵区・30代女性)
- ・イベントとしての認知度がまだ低いと思います。いつ、どこで、どんな内容のイベントを開催しているのか明確にした宣伝をすれば、参加者が増えると思います。  
例えば、事前に駅の構内でカンヌ映画祭受賞作品を上映し、告知するなど。  
(葵区・40代女性)
- ・地元紙など市民が目にする、手に取る情報誌での告知を強化する。  
(清水区・40代女性)



### ◆事業内容について

- ・フランス語の講習会などを開催して、身近にフランスやカンヌを感じさせる。  
(葵区・60代女性)
- ・カンヌが頭にくる名前にする。シズオカが先だと印象が弱まると思います。  
(駿河区・30代男性)
- ・年配者向けのイベント。例えば、演劇では、フランスにも理解できる古典に由来するものをSPACなどで。また、食では、和食とフランス料理の融合したものなど。  
(駿河区・70代以上男性)

### ■問9

「シズオカ×カンヌウィーク」について、ご意見があればご記入ください。

### ◆告知・広報について

- ・メディアからスポットを浴びてない。富士宮焼きそばもメディアにスポットを浴びて、全国的に広まった。メディアが興味をもつように仕掛けるべき。(葵区・20代男性)
- ・あまり浸透していないイベントだと思います。広報活動や子ども向けのイベント、地域や学校にチラシの配布等でよりよいイベントになるとおもいます。(葵区・20代女性)
- ・どのような催し物をやっているかわかりませんので、もう少しPRしてください。  
(葵区・30代男性)
- ・テレビCMは効果的かも(葵区・40代女性)
- ・七間町に、映画館がほとんどなくなって、映画館通りの場所がなくなったので、なんとなく、映画でイベントと言うイメージが希薄な感じがする。イベントの認知度がまだ低い。大道芸のイベント位までなるには、テレビ番組などで取り上げてもらうなど、映像での告知が必要だと思う。(葵区・40代女性)
- ・映画好きは楽しみにしているとは思いますが、一般の人にはまだ馴染みが薄いのではないのでしょうか。広報、宣伝方法を再考して、広い年齢層に訴えかけることも必要ではないですか？子どもやお母さんが喜ぶ企画も必要ではないのでしょうか？(葵区・50代男性)
- ・もう少しいろいろな場所やパンフを宣伝しないと街に出ない年寄り認知度が少ない。市の広報やテレビで紹介してほしい。(葵区・60代女性)
- ・何よりも、市民への浸透性が薄いと思いました。子どもたちにも、国際交流になるようなイベントをアピールすれば、色んな年代が集うイベントになるかと思います。  
(駿河区・30代女性)
- ・あまり、市民に熟知されていないような気がします。(駿河区・40代男性)
- ・なんか、インパクトが薄いイメージ。もっと、個性をだしてアピールしてほしいです。  
(駿河区・40代女性)

## シズオカ×カンヌウィークに関するアンケート調査結果

---

- ・広告を見て、興味のあるイベントでしたが、内容を把握していなかった為に、参加しませんでした。普段ラジオをよく聞いているので、お知らせ程度にイベントの内容を頻繁に紹介して頂けると嬉しいです。(駿河区・50代女性)
- ・市内に居住し、生活していますが、本企画の開催は知りませんでした。開催については、もちろん広報していると思いますので、自分が見落とししたのかと思いましたが、度重なる広報を実施しているなら記憶に残るはずです。全く知りませんでした。  
(駿河・60代男性)
- ・私は、このようなイベントが在ることを全く知りませんでした。もし、私を知るチャンスがあるとすれば、テレビでの画面から存在を知ることになるとおもいます。そしたら、行ってみようと思えます。やはり、いいにつけ悪につけテレビやテレビ局の影響は大です。(駿河区・60代女性)
- ・今回初めて静岡会場に見学に行きました。映画については事前に(開演時間、場所、題名等)をPRしてほしかった。フランスをテーマにしたマルシェ(=市場)での買い物・飲食が少なくなかった。七間町通りだけでなく、呉服町方面にも拡大しても良いのでは？静岡市立美術館では静岡市と連携して、この期間、有名人(俳優)を招きトークショーやフランスやフランス映画をテーマとした企画展を開催したらどうか？又この際、税金を投入し購入した、静岡駅南口にあるルノアールの裸婦像もPRしてみてもどうか？全体の印象としては会場へ足を運びたいようなイベントやPRをして欲しかった。  
(駿河区・70代以上男性)

### ◆姉妹都市について

- ・私自身、たまにフランス在住のフランス人と交流しますが、カンヌの人が意外と静岡と姉妹都市と言っても感動も何もない反応で、知らないことが残念です。静岡だけで盛り上がるのではなく、カンヌとの交流を行った方がいいと思います。何かお手伝いできることがあればと模索しています。(葵区・40代女性)
- ・静岡でカンヌと言われても、今一つピンと来ない。確かに姉妹都市であるのは確かだが、カンヌ映画祭に無理やり関連性を持たせて、開催しているように感じる。費用対効果で効果が上回るのならば良いが、そうでなければ、イベントの必要性を再考すべきである。  
(葵区・50代男性)
- ・静岡市民の多くはカンヌ市と静岡市が姉妹都市であることを知っている人が少ないので、市はもっと市民にPRを行い、周知徹底することが必要と思います。  
(葵区・70代以上男性)
- ・そう言えばどこかで見かけた文字並びだなあ程度で、静岡市のことだとは思わなかった。せっかくの姉妹都市もここまで放置政策だと秘境です。(駿河区・40代男性)

- ・第一に、カンヌ市と姉妹都市という事を知らなかったのも、どんな経緯で姉妹都市になったのか、調べてみたいと思いました。日頃、姉妹都市として、どのような活動がされているのか、その盛り上がりなくして、カンヌウィークの盛り上がりはないと思うのです。第二に、盛り上がらせるためには、もっと、マスコミ等を使っての宣伝や、「カンヌ市クイズ王決定」などで、市民の興味をあおる事前の企画も楽しいでしょう。第三に、上映館が、昨年一昨年のイベントと比較すると、少なかったのではないのでしょうか。高齢化が進んでいる現在、身近で上映された方が、観客数増加につながると思いますので、生涯学習センターなど、身近な施設の検討も視野に入れて頂けたらと思いました。

(駿河区・60代女性)

- ・私は、カンヌといつどのようにして姉妹都市になったか知りませんでした。私のような者が沢山居ると思います。姉妹都市になった意義などをもっと多くの市民にPRすることが必要と思われます。(駿河区・70代以上男性)
- ・姉妹都市提携から23年経っていることは初めて知りました。素晴らしいことです。フランスと言えば、いろいろな文化活動が活発ですので、連携を生かして学ぶことが大切だと考えます。カンヌだけでなく。食文化も、和食が世界文化遺産になりましたが、静岡市でもミシュラン三星を獲得できるレストランが生まれれば、さらに身近になると思います。

(駿河区・70代以上男性)

### ◆マルシェ・食について

- ・もっとフランスの食について知りたくなりました。(葵区・20代女性)
- ・フランスのお店(ケーキやピザなど)が出店していたら嬉しい。(葵区・20代女性)
- ・先日、行った友人に聞いた話だけど混んでいて買えなかったと聞いたので、混むのはいいが、もっと効率よく買えるようにしてもらいたい。(葵区・30代女性)
- ・飲食店で、フランスにいるのと同じ音楽、言葉、雰囲気のお店があれば、行ってみたいです。(葵区・40代女性)
- ・マルシェというので、楽しみにしていたのに、普通の縁日と何ら代わらないような。フランスっぽいお店を出して下さい。(清水区・50代女性)

### ◆子ども向けイベントについて

- ・オシャレなイベントなので参加してみたいと思いながら小さい子連れでは参加しにくいので断念しています。映画も子どもと見られる短編のものがあったり、小さい子どもでも楽しめるようなブース(海外の玩具の体験、海外のおやつを試食など)があたりすると参加しやすくなり嬉しいです。(駿河区・30代女性)
- ・興味はあるので行ってみたいけど興味がわくような子ども向けのイベントがあまりないのでなかなか行けない。(駿河区・30代女性)

## シズオカ×カンヌウィークに関するアンケート調査結果

- ・毎年カンヌウィークの開催を楽しみに参加させてもらっています。大人も子どもも楽しめる屋台や飲食物がなるべく安価で提供されるともっと利用する人が増えると思います。カンヌと姉妹都市になっているのを知らない市民も多いと思うので、スタンプラリーなどで足を運んでもらうイベントなどあったら楽しくなると思います。  
(清水区・40代女性)

### ◆事業内容について

- ・静岡街中開催の際には、青葉通りも使って音楽や映画イベントもやってほしい。  
(葵区・30代女性)
- ・映画は観に行きたかったですが、都合が合わず行けず非常に残念。もっとラインナップと時間帯の選択肢が多いとうれしい。フランス映画はミニシアター系で、東京などで上映されているおもしろいものがいっぱいあります。その連続上映会してもらえるとうれしい。ミライエリアンができたので、可能ではないでしょうか。また、こういうのを楽しむのに、託児がついているとうれしい。フランスで流行っているモノやコトの特集を紹介するコーナーがあってもうれしい。フランスのすてきなリネンとか生地もあります。そういうショップがあってもうれしい。フランスの子ども用おもちゃ、玩具、人形とかあってもおもしろいですね。フランスを訪れたときに見るあのカフェみたいな風景がほしい。(オープンカフェに すわる椅子がたくさん)フランスのおもしろい風習や食習慣隣人祭?などを紹介するのもいいですね。(葵区・40代女性)
- ・市場の価格が結構高くて、結局見ただけで購入しませんでした。人が多いというより、道幅がせまく歩きにくかったです。(葵区・40代女性)
- ・盛りだくさんにしすぎて、逆に何をしたいのか伝わっていない気がします。メインテーマを決めて、そこに目玉になる企画を盛り込んだり、宣伝方法を検討していく必要があると思います。ボランティアの募集にしても、どんな事をするのか、どんな人たちと一緒にやるのか、漠然としている気がします。さらに大きなイベントになる可能性を秘めていると思うので、ぜひ頑張ってください。期待しています。(葵区・40代女性)
- ・今年知った時に、「えっ、そんなのが静岡にあるの?」とビックリしました。大道芸に次いで大きなイベント?と…何だろう?と興味を持ちました。しかし、内容がよく解らなくて、行かなかったのですが、ネーミングも興味を持ちました。(葵区・50代女性)
- ・清水会場も清水の活性化の中で活発でいいのですが、静岡会場も、もっと「おまち」全体で盛り上げるように、日程も長くしたらどうでしょうか?静岡会場でも、野外での大型スクリーンでの上映などできないでしょうか?(葵区・60代男性)
- ・やり方によってはかなり伸びしろのあるイベントに感じます。(駿河区・30代男性)
- ・子どもと野外上映の映画に行きたいと思ったのですが、日曜の夜では翌日の学校に支障があるのであきらめました。清水区のほか、旧静岡市内での野外上映もあるとうれしいなと思いました。(駿河区・30代女性)

## シズオカ×カンヌウィークに関するアンケート調査結果

- ・姉妹都市というものあまり認識がありませんでした。家族で参加するとなると無料で遊べるイベントや子ども（小学生）でも楽しめる内容で、予算2,000円くらいで、ちょっと変わった食べ物や飲み物を楽しめたらいいと思う。いくらおしゃれさやおいしいからといって、飲み物だけで1杯500円とかだと家族では楽しめない。（駿河区・30代女性）
- ・その期間、静岡の街中全体をフランスっぽくしてほしいです！！（駿河区・30代女性）
- ・参加しやすいイベントであれば、知っていたのかもしれませんが。参加しやすいイベントが増えることを期待します。（駿河区・40代女性）
- ・おしゃれなイメージがあり、静岡の街中にも雰囲気があっていると思うので、ぜひ映画や芸術・アートなどを取り入れてもらいたと思います。（駿河区・50代女性）
- ・参加するとなにかプレゼントがあるといいと思います。（駿河区・60代女性）
- ・開催については知っていたけど、詳しい内容を知りたいと思わなかった。もっと人が食いつく様な内容が欲しかった。（清水区・20代女性）
- ・開催がゴールデンウィーク明けの週末の開催だと県外の参加者が増えないと思うので県外からも参加しやすい日程や旅行プランとコラボしてアピールして欲しい。（清水区・30代男性）
- ・あまりフランスという感じがなくて普通のイベントのようだった。飲食の屋台も高くてあまりおいしくなかった。（清水区・30代女性）
- ・清水会場、通りかかりました。規模が小さいと思います。駅前広場とかの方がよかったですのでは？場の雰囲気も、＜映画好き＞とかでないで踏み入れにくい閉鎖感を感じました。これから、もっと開放的なイメージのカヌウィーク、期待しています。（清水区・30代女性）
- ・私が映画に疎いからなのか、静岡・カンヌ・映画といわれてもピンときません。映画素人の私のような者でも思わず参加したくなるようなイベントを行ってほしいです。（清水区・40代男性）
- ・フランスについての情報発信をもっと積極的にしてもいいと思います。フランス語会話、フランス料理講座など、気軽に参加できるイベントが増えると嬉しいです。（清水区・40代女性）
- ・今年は清水会場へ行きました。昨年より飲食ブースで取り扱っている内容が充実していました。どうしても「フランス」ということで、食の期待が高まりますので今後もさらなるレベルアップを期待したいです。（清水区・40代女性）
- ・せっかく港があるのだから野外上映などを日の出だけじゃなくて、三保灯台の周辺やR150の大谷周辺で潮風を感じながら様々な時代やテーマの映画を見て観たいと思います。（清水区・40代女性）
- ・市民に密着した内容で気楽に参加できる企画で進めてほしいと思います。特にカンヌの様子が理解できるものであればと考えます。（清水区・70代以上男性）

- ・芸術を含むその国の文化を知り理解するのは容易なことではないことを十分認識した上で、静岡市内の文化施設（美術館、AOI、舞台劇場、グランシップ、各図書館やアリーナ）を利用して、年間を通して継続的にその国の文化を紹介し続ける活動が必要である。特に映画では、その時代・その国の文化的背景を知らないまま鑑賞してもストーリーだけは理解できてしまうため、その映画のテーマが何で、何を訴え何を考えさせようとしているかを理解しないまま終わってしまいがちで、折角の国際交流の足場づくりの意義が半減してしまっている。（清水区・70代以上男性）

### ◆その他

- ・私は映画を観るのは好きなのですがこのイベントは知りませんでした。この機会に行ってみたいと思います。（葵区・20代女性）
- ・今回のアンケートを通して、情報を把握できよかったです。来年から楽しみに、友達、子ども達にも声かけをして楽しみたいと思います。（葵区・60代女性）
- ・来年はぜひ行きたいと思います。少しはフランス語も勉強していきたいので、よろしくお願いします。（葵区・60代女性）
- ・すみません、あまり知らなかったです。次回は参加してみたいです！！こどもが体験できるものは是非お願いします。（駿河区・30代女性）
- ・遠い国のフランスがカンヌウィークで少し身近になりました。今年は所用があり参加できませんでしたが、次回は是非参加したいです。大道芸ワールドカップのようにもっともっと知名度があがって行くといいですね。（駿河区・40代女性）
- ・来年は、ぜひ、行ってみたいと思います。ボランティアとして参加できることがあればいいなと思います。（駿河区・50代女性）
- ・行きたいと思いつつ、機会をのがしています。次回行って、知識や体験を深めたいと思います。（駿河区・60代女性）
- ・5月に清水会場に行きたかったのですが、知人に教えてもらうまで存在を知らず、他の用事と重なっていたため行く事が出来ず、とても残念でした。広報での案内を見ましたが、とてもオシャレな雰囲気、良い感じだと思いました。来年は、絶対に行ってみたいと思います。（清水区・50代女性）
- ・機会があれば、是非行ってみたいと思います。もっと宣伝してほしいし、気軽に参加できるイベントも増やしてほしい。（清水区・50代男性）

### ◆総括

#### ○告知・広報について

- ・ 昨年の調査と比較し、イベントの認知度は向上したが、より参加したくなるイベントにするためには、『告知を強化すべき』、『内容を明確にした宣伝をすれば参加者が増えると思う』という意見があり、さらなる告知・広報の充実により、来場者が増加する可能性を示している。
- ・ また、イベントの告知・広報と併せて、『カンヌ市との姉妹都市提携について、積極的にPRすべき』、『静岡駅南口にあるルノアールの裸婦像もPRしてみてもどうか』という意見があった。

#### ○事業内容について

- ・ 昨年の調査と同様に、「マルシェ等の店舗の充実」を求める割合が最も多く、『フランスのお店が出展していたら嬉しい』、『フランスで流行っているものを紹介するコーナーがあると嬉しい』という意見があった。
- ・ また、昨年の調査と比較し、楽しかった催しとして「映画関連イベント」と回答する割合が減少した一方で、『映画のラインナップと時間帯の選択肢が多いとうれしい』、『子どもと見られる短編のものがあると良い』、『上映会場について、生涯学習センターなど、身近な施設の検討も視野に入れて頂けたら』といった意見があり、映画関連イベントの充実を図ることにより、来場者が増加する可能性を示している。
- ・ その他にも、『子ども向けのイベント、子どもやお母さんが喜ぶ企画があると良い』、『もっと「おまち」全体で盛り上げるように、日程も長くしたらどうか』、『フランスについての情報発信をもっと積極的にしてもいい』、『清水会場以外でも野外上映を』という意見があった。

#### ○全体

- ・ イベントの認知度が73%まで向上し、参加率も昨年の調査から10.8ポイント増の22%となり、着実に当事業の認知・促進が図られていることが確認された。
- ・ 事業内容について、多くの提案・意見が寄せられ、「来年はぜひ参加したい」という意見も多くあり、事業に対する関心や期待感の高さが感じられた。
- ・ 来年度へ向けて、より効果的なプロモーションを実施し、事業のさらなる認知・促進を図るとともに、事業内容の拡充により、多くの市民の来場・参加につながるよう取り組んでいきたい。